

- プレスリリース -

銚子市立病院再生準備機構は7月23日、銚子市と病院再生委任契約を締結し、再生業務に着手しました。

本業務を遂行するにあたって、まず休止に至った経緯と原因を精査し、再びそのようなことがないように、安定経営と公的病院の使命を損なうことのない銚子市民の望む病院の概念を構築することを第一義と致しました。

2ヶ月の研究検討の結果、下記の基本方針をまとめました。

10月から、市との協議の上、基本方針に沿ってまず来春の再開をめざしますが、さらに向こう4年をめどに最終完成形に向けて病院再生を遂行して参る所存です。

今後とも、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【銚子市立病院再生基本方針】

基本理念

市民の命を守る「救急医療体制の確保」

少子化、人口減にブレーキをかける「産婦人科、小児科の充実」

地域医療の連携を構築する総合病院

将来構想

最終病院像として現在の規模を下回るが、概ね10診療科、200床、2次救急、地域周産期母子医療センター、あるいはその後方施設。

市への以下の検討の提案

病院の早期新築（現状の施設は老朽化が激しく、医師募集に不利である）

医師、看護師など医療従事者の宿舍の見直し（優秀な人材確保に重要）

将来の安定した医療資源確保のための教育の充実

・市立高校の理系進学科の充実

・看護大学の設置

・医科大学院大学の新設

病院の経営形態（公設民営を中心に）

市からの赤字補填の可能性

可能な場合の限度額

医師募集

大学医学部との連携を主に10月から本格募集活動に着手する。

ただし、募集に関して、あらゆる選択肢を排除せず、公的病院からの派遣など広く募集活動を行う。